参考資料３

気候変動影響に関するアンケート（案）

平素より滋賀県の環境保全行政の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本県は、温室効果ガスの排出を抑制するとともに、今後生じる恐れのあるリスクに対応するため取組を進めています。本県における今後の取組の参考とさせていただくため、アンケートにご協力をお願いします。

【１】【２】は全回答者にご回答をお願いします。【３】農業、【４】自然災害および【５】気温変化・熱中症対策は、該当箇所をご回答ください【該当箇所のみ送付】。

設問に特段の断りが無い限り、組織・団体の公式見解で無くとも、個人のご意見としてご回答いただき差し支えありません。

【１】回答機関・担当者について

＜アンケートの記入日：　　＞

組織名		
所在地		
ご所属		
ご記入者氏名		
ご回答者年代 【１つ選択】	30 歳未満　30 歳代～40 歳代　50 歳代～65 歳　65 歳以上 答えたくない	
ご連絡先	電話番号	
	E-mail	

【２】全体的な事項

Q1　気候変動の影響として身の回りで既に顕在化していると感じる事柄はありますか【複数選択式】

a）局地的な豪雨の増加　b）雨があまり降らない時期の増加

c）台風の大型化・竜巻の発生　d）真夏日・猛暑日・熱帯夜の増加

e）雪が少なくなっている・降らなくなっている　f）局地的な豪雪の発生

g）四季の不明瞭化　h）獣害などの増加　i）周囲の草木や見られる生物の変化

j）その他（　　）

Q2　「Q1」の変化はいつごろからですか【１つ選択】

a）ここ数年　b）10 年ほど前から　c）20 年ほど前から　d）30 年ほど前から

e）30 年以上前から　f）不明　g）影響はあらわれていない

Q3　気候変動に伴う影響で（今後の）不安として感じることはありますか
【複数選択式】
a）農作物の収穫量や品質の低下　b）琵琶湖の水環境や自然生態系の変化
c）水資源への影響（渇水）　d）豪雨による洪水、土砂崩れ等の増加
e）感染症の増加（デング熱等）　f）健康への不安（熱中症の増加等）
g）観光・レジャーへの影響（積雪量の変化等）　h）不安に感じることは無い
i）その他（自由記述：　　）

Q4　今後生じる気候変動に伴う影響の回避・軽減を図る「適応策」という言葉を知っていましたか。

a）はい　b）いいえ

Q5　2018 年 6 月に制定された「気候変動適応法」は、今すぐ温室効果ガスの排出を止める対策を講じたとしても、一定程度の気温上昇は避けられず、気候変動の影響は何世紀も持続すると予測されているという背景を踏まえてのものですが、この背景を知っていましたか。

a）はい　b）いいえ

Q6　「気候変動適応法」では、国や都道府県は、気候変動の影響や適応に関する情報を収集し、提供等を行うことが必要になりました。情報発信手法の１つとして、国立環境研究所にホームページ「A-PLAT（気候変動適応情報プラットフォーム）」が開設されましたが、知っていますか。【１つ選択】
a）知っているがアクセスしたことは無い　b）アクセスしたことがある
c）定期的にアクセスしている
d）掲載されている情報を使用している　e）知らない

Q7　気候変動に関する情報について、よく収集するのはどの媒体からですか
【複数選択式】
a）テレビ　b）新聞　c）滋賀県のホームページ
d）気象庁・気象台のホームページ　e）国立環境研究所のホームページ（A-PLAT）
f）県や市町の広報誌　g）セミナーや講演会等　h）特に収集しない
i）その他

Q8　滋賀県は今年１月に「2050 年温室効果ガス排出量実質ゼロ」に向けた取組（しがＣＯ$_2$ネットゼロ）を開始し、その賛同者を募集していますが、ご存じでしたか。

a)　はい　　b)　いいえ

【３】農業　（農業協同組合等を想定）

組織・団体の公式見解で無くとも、個人のご意見としてご回答いただき差し支えありません。そのような話を聞いたことがあるというレベルのものも含めていただいて結構です。

(1) 農作物への被害や対策について

質問	回答欄				
Q1　雨や気温の変化等、昨今の気候変動を実感する【1 つ選択】	5. 非常にそう思う	4. ややそう思う	3. どちらともいえない	2. あまりそう思わない	1. 全くそう思わない
Q2　農作物等の天候被害を受けたことがある【1 つ選択】	5. 何回も受けた	4. 数回は受けた	3. どちらともいえない	2. あまり受けていない	1. 全く受けていない

Q3　【Q2 で 5. 何回も受けた、4. 数回は受けた と回答された方にお聞きします】具体的な被害の内容を教えてください【複数選択式】

作物	被害	その原因として考えられること
水稲	1. 収量・生産量の低下　2. 生育不足・品質低下　3. 白未熟粒の発生　4. 虫害の多発　5. 病害の多発　6. 穂発芽　7. 施設の被害　8. 作季の変化（前進・遅れ）　9. その他（　　）	1. 気温が高い　2. 気温が低い　3. 水不足（雨量が少ない）　4. 多雨　5. 豪雨による水害（川や用水路の氾濫）　6. 日照不足　7. 強風　8. 雹（ひょう）　9. その他（　　）
その他 【作物の名称：　　】	【自由記載】	【自由記載】

Q4 上記の影響に対し、行っている対策、行おうとしている対策を教えてください【複数選択式】

作物	行っている対策	これから行おうとしている対策
水稲	1. 作付時期の変更	1. 作付時期の変更

	2. 高温耐性品種（みずかがみ等）への作付品種の変更 3. 施肥方法の変更 4. 栽培作物の転換 5. 農薬、防除薬の活用（散布時期や頻度の変更） 6. 情報技術（天気予報、栽培記録等）の活用 7. センサー（温湿度計等）の設置 8. 農業機械等の買い替え、更新 9. 栽培地の変更 10. その他（　　） 11. 特に行っていない	2. 高温耐性品種（みずかがみ等）への作付品種の変更 3. 施肥方法の変更 4. 栽培作物の転換 5. 農薬、防除薬の活用（散布時期や頻度の変更） 6. 情報技術（天気予報、栽培記録等）の活用 7. センサー（温湿度計等）の設置 8. 農業機械等の買い替え、更新 9. 栽培地の変更 10. その他（　　） 11. 特に行っていない
その他 【名称：　　】	【自由記載】	【自由記載】

Q5　ここ最近（直近 5 年から 10 年程度）で、気候の変化などに対応して、作物転換をされた県内農家の事例を把握していますか

作物転換の事例	「あり」の場合の転換事例（○○→△△）
1.あり 2.なし	・ ・ ・

(2) 気候変動等に関する情報の取得について

Q1 日頃から、気象庁や自治体が出す「大雨」や「高温注意情報」、「霜注意情報」等を収集していますか。

a)　はい（頻度はどれくらいですか：　　）　　b)　いいえ

Q2 気象庁や国立環境研究所などが出す、長期的な大雨の増加や農作物の栽培適地の変化等に関する情報予測情報等を収集していますか。

a） はい（頻度はどれくらいですか：　　）　　b） いいえ

Q3 【Q1 ではいと回答された方】普段、どこから情報を入手していますか。【複数選択式】

a） テレビ等の天気予報など　　b） 滋賀県や市町のホームページなど
c） 特に収集していない　　d） その他

Q4 県や市町等から提供される情報（高温注意情報や霜の情報等）をどのように活用していますか【複数選択式】

a） 作付・施肥・収穫時期の判断　　b） 防虫対策の強化等
c） 水撒時期や量の判断　　d） 特に活用できていない
e） 必要な情報の提供を受けていない　　f） その他（　　）

Q5 気候変動による農作物への被害を軽減するための、貴団体の独自取組はありますか【複数選択式】

a） 会員（農家）への情報発信　　b） 気温等の独自のモニタリング
c） 品種改良などの調査研究の実施　d） 独自の取組は無い　c） その他（　　）

Q6 【水稲栽培についてお聞きします】主に登熟期の高温により外観品質の低下（白未熟粒の発生）が指摘されていますが、稲作は昔よりも難しくなっていると感じますか。また、それはいつ頃からですか。

a） 感じる（いつ頃からですか：　　）　　b） 感じない

Q7 【水稲栽培についてお聞きします】本県では、今後の気候変動が水稲栽培に与える影響を評価する予定をしております。コメの品種ごと（コシヒカリ、みずかがみ等）の白未熟粒の発生率の経年変化を把握していますか【複数選択式】

a） 把握しており、県へのデータ提供が可能（ご連絡先：　　）
b） 把握しているが、データ提供は不可
c） 把握していない
d） その他（　　）

Q8　ご意見等

【自由記述】

【４】自然災害（地域防災アドバイザーなどを想定）

Q1 日頃から、気象庁や自治体などが出す、「大雨の情報」や「土砂災害警戒情報」、「浸水・土砂災害範囲の想定区域情報」等を収集していますか。

a)　はい（頻度はどれくらいですか：　　）　　b)　いいえ

Q2 気象庁や国立環境研究所などが出す、長期的な大雨の増加の予測情報等を収集していますか。

a)　はい（頻度はどれくらいですか：　　）　　b)　いいえ

Q3 【Q1 ではいと回答された方】普段、どこから情報を入手していますか。【複数選択式】

a)　テレビ等の天気予報など　　b)　滋賀県のホームページや配布物など
c)　市町からの戸別配布物など　　d)　特に収集していない
e)　その他（　　）

Q4 【Q3 で b, c 県や市町からの配布物を選択された方】提供される情報（水害や土砂災害リスクマップ（地先の安全度マップ）等）をどのように活用していますか【複数選択式】

a)　掲示による共有（家庭内および地域の掲示板等）
b)　地域での回覧　　c)　避難訓練等の実施　　d)　特に活用できていない
e)　必要な情報の提供を受けていない　　f)　その他（　　）

Q5 県や市町等から提供される気候変動や自然災害リスク情報は有用と感じますか

a)　感じる　　b)　感じない

【理由】

Q6 次のうち、地域で取り組んでいる対策はありますか【複数選択式】

a) 水害リスク・土砂災害リスクマップを配布している　b) 訓練をしている
c) 避難所を決めている　d) 連絡網を作っている　e) 自治会等で役割を決めている　f) 自治会等で備蓄をしている　g) その他（　　）

Q7 異常気象による自然災害を未然に防ぐため、どのようなことが必要と感じますか

a) 行政と地域との円滑な情報伝達　b) 将来の気候変動リスク情報の充実
c) 河川改修や土砂崩れ対策工事などのハード整備
d) 避難体制の整備（ソフト対策）　e) その他（　　）

Q8 ご意見等

【自由記述】

【５】熱中症 （スポーツ協会や学校などを想定）

Q1 日頃から、気象庁や環境省、各気象会社、自治体などが出す、毎日の「高温注意情報」や「熱中症注意情報」を収集していますか

a) はい（頻度はどれくらいですか：　　）　b) いいえ

Q2 気象庁や国立環境研究所などが出す、長期的な気温や熱中症増加予測情報を収集していますか

a) はい（頻度はどれくらいですか：　　）　b) いいえ

Q3 【Q1 ではいと回答された方】普段、どこから情報を入手していますか。【複数選択式】

a) 気象庁の高温注意情報など　b) 環境省の暑さ指数など
c) 滋賀県の「しらしがメール・ライン」配信情報など　d) 特に収集していない
e) その他（　　）

Q4 【Q1 ではいと回答された方】上記 Q3 などで得た情報をどのように活用していますか
【複数選択式】

a) （スポーツイベント等への）参加者への周知　b) 中止の判断の目安として活用
c) 救護所の設置やスタッフの拡充の目安に活用　d) 特に活用できていない
e) 必要な情報の提供を受けていない　e) その他（　　）

Q5 県や市町、気象台等から提供される情報は有用と感じますか
a) 感じる　b) 感じない

【理由】

Q6 次のうちで、貴団体において熱中症予防のために取り組んでいることはありますか
【複数選択式】
a) 暑さ指数（WBGT）測定装置の導入　b) イベントや大会等の中止基準の設定
c) 休憩時間・水分補給時間の充実　d) 選手や生徒等の体調管理
e) 救護所の手配　f) 熱中症予防に関する知識の向上
g) その他（　　）

Q7 【貴団体において独自に暑さ指数（WBGT）測定をしている場合】データの公表はしていますか
a) はい【公表先（URL 等：　　）】
b) いいえ【本県へのデータ提供の可否：　可（ご連絡先：　　）　・　否 】

Q8 ご意見等
【自由記述】